

政党政治と経済の深刻化

*1 清浦内閣は貴族院を基盤とし、超然主義を唱えました。

*2 選挙権は25歳以上の男子に限定されていました。

*3天皇を中心とする日本の政治形態を示す言葉です。

*4 震災に際して発行された震災手当の処理をきっかけに発生、銀行では取り付け騒ぎが発生、財閥系の大銀行に資金が集中することになります。

*5内政では治安維持法の内容を強化するとともに、日本共産党に対し、二度にわたる大規模な弾圧を行いました。

*6国民党による中国統一を妨害するために山東出兵を行いました。

*6 金本位制への復帰をめざしますが、金の大量流出を招き、大失敗に終わります。

●普通選挙を求める声が高まる中、成立した清浦奎吾内閣*1に反対し、1924年①_____運動が発生しました。

●この運動は、②_____とよばれる3つの政党(立憲政友会、憲政会、革新倶楽部)が中心となり、選挙の結果、第一党となった憲政会の③_____が内閣を組織します。

●③内閣は④_____法を1925年に成立させました。*2

しかし、⑤_____法も制定され、私有財産制度の否定や、天皇中心の⑥_____*3変革をめざす運動を取り締まることとし、その後の思想弾圧の出発点となりました。

●こののち、衆議院の多数を占めた政党の党首を首相とすることを慣例化しました。このことを「⑦_____」とよばれました。

●日本経済は、第一次大戦後の戦後恐慌、1923年の関東大震災による⑧_____恐慌と、恐慌があいつぎ、1927年には、大蔵大臣の失言をきっかけに、銀行の破綻などが集中する⑨_____恐慌*4が発生しました。

●⑩恐慌をきっかけに崩壊した憲政会内閣に代わった⑩_____政友会内閣は*5、強引に中国への進出*6をすすめる⑪_____外交をすすめました。しかし、軍部が中国の軍閥張作霖を爆殺した事件をきっかけに、天皇の不興を買い、退陣します

●1929年、⑫_____恐慌がはじまると、当時の浜口内閣の経済政策*7の影響もあって、日本では⑬_____恐慌と呼ばれる深刻な恐慌に陥りました。

こうしたなか、右翼や軍部によるクーデタ未遂事件やテロが横行、大陸へのいっそうの進出によって、経済の立て直しを図ろうという動きが高まっています。

参照：旺文社「教科書よりもやさしい日本史ノート」